



上手に出来ました

伊豆海認定こども園「育MEN参観日」

大丈夫？介護保険

2

農業委員は選挙から任命へ

3

**賀茂中体育館バスケット
ゴール落下防止工事**

5

12月17日（土）に、伊豆海認定こども園では「育MEN参観日」が行われ、お父さんと一緒に正月飾りを作りました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

大丈夫？ 介

開催期間	12月6日から12月8日まで
審議した案件	町長提出 18件（内、諮問1件、同意1件）
可決した主な議案	介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 一般会計補正予算（第5号） など

こんなことが、決まりました。

介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

（全員賛成）

主な歳入として、介護給付費準備基金繰入金1,670万8千円、歳出は居宅介護サービス給付費2,517万5千円、居宅介護サービス計画給付費595万7千円などにより、追加補正は4,519万2千円となりました。

介護給付費準備基金繰入金

1,670万8千円

問 なぜこの時期に基金の繰入を行うのか。

答 これから歳出が増え、3月末の見込みでは、予算が不足する事が予想されるため、繰入を行います。

問 基金残額は1,065万円とのことだが、次年度は大丈夫か。

答 心配はしておりますが、29年度予算は組めると思います。29年度中に、30年度からの第7期計画での保険料見直しがありますので、今後の計画を立てたいと思います。

問 28年度予算と同規模でギリギリ組める状態では、仮に今年度のように補正を組まなくてはならなくなった場合は、やっていけないのでは。

答 29年度はなんとか乗り切れると思いますが、30年度以降は上げることになると思います。

指導主事共同設置規約の制定

（全員賛成）

賀茂郡下5町で指導主事を共同設置します。県と連携し、賀茂地域における教育の一体感を醸成し、学校訪問や若手教職員を指導することで、資質向上・学校教育の充実を図ることを目的としています。

問 事務所の場所は。

答 下田総合庁舎内に設置します。

問 指導主事は何名配置か。

答 3名です。東伊豆町・河津町に1名、南伊豆町に1名、松崎町・西伊豆町に1名を配置します。

問 同じ地区を長く担当できることが大事だが、任期

護 保 険

今回の補正予算を組むことによって、来年度に使える基金が、残り1,065万円まで減ります。28年度に1,000円の値上げをしましたが、30年度からは、また値上げをしなくては、介護保険会計を賄えなくなってしまいます。

は何年か。

答 1年間は確実ですが、県職員ですので、異動があります。

問 指導を担当する地域の出身者を選任出来ないか。

答 通常の教職員人事は、賀茂地域1市5町を一つの単位として行っているので出来ません。

賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更 (全員賛成)

賀茂地域1市5町が連携して、県の支援のもとに学校教育に関する専門的事項の指導を行うものです。

問 今回、下田市を除く東伊豆、河津、南伊豆、松崎、西伊豆の5町で指導主事3人の配置としたが、下田市の人も入れて4人態勢の方がベターではないか。

答 下田市は既に単独で配置しており、現行で行きたいとの事です。

農業委員の選出は、選挙制から町長の任命制に変わります。 (全員賛成)

農業委員会等に関する法律の改正によるものです。

定数は、農業委員 10名
推進委員 3名

問 委員の選出方法は。

答 農業委員は町長が公募を行い、議会の同意を得て任命します。自薦・他薦は問いませんが、農業を経験している方を考えています。推進委員は農業委員会が委嘱します。

問 農地法第3条・4条・5条は従前と変わらないか。

答 変わりません。

職員の介護休暇を取りやすくしました。 (全員賛成)

人事院勧告による改正で、職員の介護休暇の分割取得と介護時間の新設に関する条例の一部改正です。

問 要介護者の介護状態の判断基準は。

答 国・県からの要介護度の判断基準はなく、申請者の家庭状況や介護状態を、ケアマネージャーなどに確認して判断します。

教育長のボーナスを0.1か月増に。 (賛成9：反対1)

人事院勧告による改正で、教育長期末勤勉手当給与等に

関する条例の特例に関する条例の一部改正です。

反対討論 日本の借金は1,054兆円で、GDPの2.5倍に上り、増え続けている。国民1人当たりになると830万円になるといわれている。これらは負の遺産として後世に先送りされることになる。この額を少しでも少なくするために、厳しい財政事情の中での増額には反対。

賛成討論 教育長は県から来ており3年目を迎える。県も人事院勧告に従って上がっている。教育長の実績を見ると、JETプログラムをはじめ教育分野での活躍が著しく、その人材に応える給料を払わないことは、町が敬意を表していないことになりかねない。

国の借金が沢山と言われるが、今の社会情勢から考えると可処分所得が減っている現状がある。仕事をしていただいた評価に見合った対価を払うことが妥当と考え賛成。

賛成討論 国の借金やGDPなどの議論は、国政の場ですべき問題であると考えてる。

今回の改正は、教育長の給与等の特例に関する改

正です。県から26年以降来ている事情を勘案し、今までの功績を見れば改正は妥当と考え賛成。

職員の給与に関する条例の一部改正

(賛成9：反対1)

人事院勧告による改正で、期末勤勉手当0.1か月分増額。給料を4月に遡り400円から1,500円の範囲で引き上げ。配偶者手当の見直しも行います。

問 給料は昨年度の改正で減額され、現給補償をしている。今回の改正による支給額の増額分とその対象者は。また、ボーナス、手当の総支給額は。

答 増額分は月額3万7千円で、対象者は28名です。期末勤勉手当は408万円の増額、配偶者手当は20万円の減額になります。

税条例の一部改正

(全員賛成)



繰り返される被害 林道祢宜畑倉見線

台湾の投資事業組合等から得た利子所得や配当所得に対する課税方法や税率を新たに設けるため、町の税条例を改正します。

問 株取引、不動産取引の所得は、この条例の対象か。

答 不動産取引は該当しません。投資に関係する利子・配当が対象になります。

問 申告は自主申告か。

答 そのとおりです。自主申告なので、把握漏れがあるかもしれません。

国民健康保険税条例の

一部改正 (全員賛成)

税条例の改正により、台湾の投資事業組合等から得た利子所得や配当所得を、国民健康保険税の所得割の算定や軽減判定の際に用いる総所得金額に含めるものです。

手数料徴収条例の一部を

改正 (全員賛成)

国外犯罪の被害弔慰金等の支給を受けようとする者に対

して、被害者と遺族の戸籍に関する証明を無料で交付できるようにになります。

林道祢宜畑倉見線災害復旧工事請負契約締結

(全員賛成)

契約額は4,968万円で、29年3月の完成を目指します。

問 補助率は。

答 国庫補助が、65%です。

問 土砂溜まりに堆積した土砂の、掘削費用の負担は。

答 町の負担です。

静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更

(全員賛成)

組合の構成員に、富士山南東消防組合を加えるものです。

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定

(全員賛成)

公表内容は、職員の人事評価・給与・研修の状況などです。

問 公表の方法は。

答 主に、ホームページでの公表を考えています。

問 公表の時期は12月末だが、本年度は実施できるのか。

答 27年度分の公表ですので、可能と考えています。

問 人事評価とサービスの状況は、基準はあるのか。

答 人事評価は町の規定があり、サービス規定は地方公務員法で規定されている違反行為が基準になります。

**水道事業会計補正予算
(第1号) (全員賛成)**

減価償却費168万6千円、貸倒引当金189万5千円などで合計326万9千円の増額補正です。

問 貸倒引当金は毎年発生するののか。

答 回収不能料金を正確に予測出来ないの、毎年計上していくようになると思います。

**温泉事業会計補正予算
(第1号) (全員賛成)**

減価償却費266万5千円、貸倒引当金61万9千円などで合計336万8千円の増額補正です。

**一般会計補正予算
(第5号) (全員賛成)**

主な歳入として、27年度決算確定により繰越金1億8,534万7千円など。歳出として、臨時福祉給付金給付3,688万3千円、賀茂中体育館非構造部材耐震工事費1,039万円、財政調整基金積立金1億3,324万8千円など総額2億1,300万円を増額します。

**宇久須川頭首工改修
補正額 750万円**

問 頭首工(灌漑用水の取水口)の場所、取水している面積は。また、事業はどこからの要望なのか。

答 神田神社近くの入谷川

原、宮下の頭首工です。
取水面積は2haの畑地です。要望は地区からです。

**丹野平への林道補修
補助金 100万円**

問 この補助金の使い道は。

答 林道大城線の路肩を、地区の方が修繕するためのものです。

**過年度分臨時福祉給付金
364万9千円を国に返還**

問 臨時福祉給付金返還金364万9千円は、なぜ発生したのか。

答 対象者2,700名のうち、申請者は1,830名でした。審査して1,800名の方に給付しました。給付率が低いのは宣伝が足りなかったのかと思います。今後は広報活動を強めていきたいと思っています。

**賀茂中体育館の吊り下げ式
バスケットゴールなどの落下
防止工事 1,039万円**

問 非構造部材耐震化事業の1,039万円はどのような工事か。また、この工事の有用性と、他の物での代用はできないのか。

答 バスケットゴールの落下防止のため、ゴールの取替え、建物の躯体補強と照明器具の落下防止工事となります。移動式バスケットゴールも検討しましたが、保管場所、ゴールの後部のスペースがないため、今回

の計画となりました。

**鳥獣被害対策として
259万2千円補助**

問 この事業の内容は。

答 犬の位置が確認できるドッグマーカーやトランシーバーの購入費用と、県からの駆除狩り費用です。

**ふるさと振興費
委託料 67万9千円**

問 委託料67万9千円とは何か。

答 観光協会に、ふるさと納税感謝券の取りまとめを委託しています。1枚につき27円の手数料で、2万5千枚の追加分です。

**人権擁護委員候補者の
推薦 (全員賛成)**



山本 豊氏(田子)

**監査委員の選任
(全員賛成)**



浅賀 和美氏(宇久須)

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	山本智之	芹澤孝	高橋敬治	加藤勇	山田昭男	山田厚司	西島繁樹	星野淨晋	堤和夫	山本榮	増山勇	議決結果
12月定例会	28年度 林道祢宜畑倉見線災害復旧工請負契約の締結 [契約金額4,968万円]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定 [職員の勤務状況などを公表するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定 [農業委員及び推進委員の定数を定めるもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置規約の制定 [賀茂郡5町で指導主事を共同設置するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正 [介護時間の新設などをするもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	教育委員会教育長給与等に関する条例の特例に関する条例の一部を改正 [期末手当の改正をするもの]	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正 [給与月額、期末手当の改正をするもの]	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	可決
	税条例の一部を改正 [台湾との取り決め締結により、個人町民税の特例を追加するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [台湾との取り決め締結により、国保の特例を追加するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	手数料徴収条例の一部を改正 [法律の制定により改正するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	静岡県市町総合事務組合規約の一部を改正 [構成団体の変更に伴うもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の変更 [指導主事関係を追加するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 一般会計補正予算(第5号) [2億1,300万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [4,519万2千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 水道事業会計補正予算(第1号) [収益的支出を326万9千円増額などのもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	28年度 温泉事業会計補正予算(第1号) [収益的支出を336万8千円増額などのもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	可決
	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	適任
	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	同意

議長(堤和夫)は採決に加わりません。

次期町長選挙は

(町長) 出馬に向けて準備中



山本 栄 議員

質問 29年4月に任期満了となるが、次期町長選挙に出馬の考えは。

町長 出馬に向けて準備をしています。諸々の調整ができれば正式に表明します。

町政運営の成果は

医療施設の充実など

質問 2期目の所信表明で掲げた、まちづくり施策の成果をどのように総括されているのか。

町長 任期中の主な成果として、消防団第2・第3分団詰所を津波浸水域外へ移転、高校生までの医療費無料化、田子・安良里診療所の移転で、医療施設の充実を図りました。また、ふるさと納税の返礼品などで町内に5億円を超す経済効果をもたらすことができました。他に、職員の意識改革と町営施設の一括指定管理や、無駄な経費の削減で財政調整基金を大幅に蓄えることができました。

やり残した事業は

教育環境と斎場建設

質問 町政運営の2期目に整備できず、やり残した事業で主なものは。

町長 教育環境の整備と斎場建設は、地域の理解が得られず未整備となりました。

質問 未整備の教育環境と斎場建設について、次年度以降の進め方は。

町長 斎場は区からの誘致を望んでいますが、最悪の場合は下田市の施設利用も選択肢と考えます。また、教

育環境の整備は、住民に統合案を示した後、トップダウンで決めることが必要になるのかとも考えています。

新年度予算の編成方針は

骨格予算で

質問 改選の年だが新年度予算の編成方針は。また、議会が提出した要望事項を予算に反映させる考えは。

町長 通常の予算を基に骨格予算とします。議会からの提案については考慮したいと考えますが、細かい精査はこれからになります。



安良里診療所の完成予想図



加藤 勇 議員

坂本川改修は

(町長) 来年度整備

質問 旧安良里小学校の敷地内を流れる坂本川は、25年7月のゲリラ豪雨で被災したが、3年半経過した現在も当時のまま改修されず、住民の不安は解消されていない。一刻も早い改修が必要だが、計画は。

町長 地域説明会を行いました。新年度予算に計上し、29年度中の完成を予定しています。

質問 以前の質問に敷地の全体利用計画を検討すると答弁しているが、利用計画はあるのか。

町長 計画はありません。津波浸水域ですので、公共施設整備（建物・公園など）は考えていません。

避難生活計画書の作成は

今後作成

質問 町は、「堂ヶ島温泉旅館組合」の5箇所のホテルと協定し、災害時にはホテルを避難所として利用し、最大で約2,000人の避難生活が

出来ると計画している。ホテル避難を想定した「避難生活計画書」が早急に必要ではないか。

町長 今後作成します。

質問 「ホテルを避難所として利用できる」とはどのような状況か。

町長 災害の状況に合わせて応急危険度判定士の診断を待たず、町の職員や業者で安全を確認し、利用することです。

質問 ホテル避難の期間はどのように考えているか。

町長 長期にならないようにと考えています。公共施設

などを優先して利用します。

空いた公共施設の利用は

解体を考えています

質問 来年3月に空室となる消防団第2分団詰所と、安良里診療所の利用計画は。

町長 2箇所とも津波浸水域にあるので、解体したいと考えています。

質問 地域の団体が利用を希望した場合の対応は。

町長 賃貸での利用を考えていますが、維持管理費や将来の解体費用など、応分の負担を求めます。



まだまだ使える

指定管理施設の避難所利用は

(町長) 想定しています



山本智之 議員

質問 「黄金崎クリスタルパーク」など災害時に避難者が集まると想定される指定管理施設があるが、避難所としての施設利用想定は。

町長 想定しています。

質問 今後、指定管理施設を避難所に指定する考えは。

町長 考えはありませんが、随時検討はしていきます。

質問 「やまびこ荘」は指定避難所となっているが、指定管理者との災害時協定は。

観光商工課長 「管理運営に関する基本協定書及び仕様書」で対応します。

質問 「やまびこ荘」など、指定避難所での町内会と連携した避難所立ち上げ訓練の実施は。

企画防災課長 今後、「避難所運営マニュアル」に沿って、実施を検討します。

質問 「加山雄三ミュージアム」の駐車場は一次避難地となっているが、協定を結び建物を避難所に指定する考えは。

企画防災課長 ありません。

耐震改修促進事業は

事業内容の見直し検討

質問 「ブロック塀等耐震改修促進事業」の補助率や、上限額を上げる考えは。

町長 単なる上限額の見直しでなく、事業内容の見直しについての検討を指示しています。

質問 利用件数の少ないこの制度の広報活動は。

町長 広報誌や回覧等の活動に加え、建設・土木業者によるパンフレット等での広報などを考えています。

総合戦略の検証作業は

年2回ペースで

質問 今年度、実行段階に入った「西伊豆町まち・ひと・しごと総合戦略」のKPI（重要業績評価指数）の検証と見直しをする組織は。

町長 「総合戦略策定会議」で行います。

質問 会議の開催予定は。

町長 8月と3月の年2回の予定です。

質問 議事録の開示予定は。

企画防災課長 ホームページでの開示を予定しています。



出典：静岡県(2012)「ブロック塀の点検と改善」p.11

危険なブロック塀をなくしましょう



星野 淨 晋 議員

メールでの広報をしては

(町長) 検討したい

質問 防災・行政無線での放送を行っているが、難聴地域や天候によっては聞こえない場所もある。難聴戸数の把握はしているのか。

町長 していません。

質問 把握をしていなければ、難聴解消などの対策が出来ないと思うが。

企画防災課長 連絡をいただいた際は、現地にて周りのお宅を含め確認をし、対策を講じています。

質問 メールでの広報を提案するが、いかがか。

町長 検討したいと思っています。

質問 どのような配信を検討するのか。

企画防災課長 近隣市町で導入している方法や、初期費用・コストも含め、検討したいと思います。

人口減による住民負担は

多くなる

質問 人口減少対策は喫緊の課題であるが、対策は。

町長 移住体験ツアーや、首都圏での移住相談・地域おこし協力隊の活用などを行っています。

質問 人口減による住民負担は。

町長 負担は多く、サービスは低下すると思います。

質問 水道料金で考えると、20年後は倍にしなければ賄えなくなる。今から対策を講じる必要があると思うが。

町長 まずは料金の統一化を図り、その後料金の見直しも必要と思っています。

質問 今後の事を考えると若者の移住が必要だが。

町長 職場の確保など課題はあります。金銭的な支援はできませんが、国県の制度を紹介したり、出来ることは行っていきたいです。

幼保小中の統合は

避けられない

質問 幼保小中の統合は必要と思うがいかがか。

町長 避けられない状況だと認識しています。

質問 旧洋らん跡地への統合移転が望ましいのでは。

町長 一つの案として承っております。



西伊豆町も配信しては

公共交通の充実を

(町長) 支所・出張所の廃止などと合わせて



増山 勇 議員

質問 最近、高齢者による痛ましい交通事故の報道が続いている。わが町では、公共交通が整備されていないこともあり、車は生活手段に欠かせない。1日も早く町内巡回バス・デマンドバスなどを実施しては。

町長 支所・出張所の廃止、学校施設の統合と合わせて考えていきます。

質問 それはいつなのか。

町長 住民の理解が必要なので、難しいと思います。

質問 それではいつ検討するかもわからず、無策ということだ。以前の答弁では「若手職員に指示した」と言っているが、検討・研究もしていないのか。

副町長 していません。若手職員17名のプロジェクトチームでは、20年後、30年後の財政について、主に話し合っています。

質問 高齢者（70歳以上）の交通費助成を拡充しないか。

健康増進課長 27年度のバス券の利用実績は、44.5%し

かありませんでした。拡充は考えていません。

質問 東海バスの路線がなかったり、利用しにくいダイヤなど、町の実態を無視した答弁であり、大変残念だ。自主的に運転免許証を返納した方への助成制度創設を提案するが、どうか。

町長 現況の高齢者交通費助成の中で、対応できると考えています。

原子力災害の対応は

検討していません

質問 防災計画には「原子力

災害」の項目がある。検討をしているのか。

町長 県は30km以内の防災計画が示されているので、町として検討していません。

旧洋らん跡地の利用は

雇用を生む利用

質問 議会は、幼保園を統合し、旧洋らん跡地への移転が望ましいとの意見書を提出している。町として跡地利用は。

町長 雇用を生む利用を考えていますが、方向性はまだ決まっていません。



早く有効利用を！



高橋 敬治 議員

台湾澎湖県との交流推進は

(町長) 町民の訪問費用を助成したい

質問 澎湖県との友好交流は観光誘客に繋がると思うが、今後どのように推進していくのか。

町長 各団体及び事業所と町が一体となって、誘客宣伝を進めて行きます。また町民が澎湖県を訪問した場合には、5万円を限度に費用の助成を考えています。

質問 台湾との交流に対し、「美しい伊豆創造センター」の伊豆観光推進協議会は、必ずしも足並みが揃っていないように思うが。

町長 各市町の目的があり、揃えるのは難しいです。決まったことが全ての市町に最適とは思われませんが、意見を言って決まったことには従っていきます。

質問 中学生交流事業は今後どうするのか。

町長 中学生がいろいろな面で成長できる有効な事業ですので、来年度以降も継続していきます。澎湖県の中学生他14名が12月下旬に西伊豆町を訪れる予定です。

津波避難計画の公表は

新たな情報を加味して

質問 西伊豆町津波避難計画は策定したはずだが、未だに公表されていないのは。

町長 区長さんから伺った過去の災害情報などを加味してから公開する予定です。

質問 松崎町の計画はシミュレーションや住民とのワークショップを重ね、緻密に計画されている。是非参考にすべきと思うが。

企画防災課長 読んでみて参考にしたいと思います。

学校の避難場所が校舎だが

あくまで高台避難

質問 津波浸水域にある学校の避難場所は、校舎でなく高台にすべきではないか。

町長 あくまで高台避難ですが、時間が無ければ校舎で止むを得ないと考えます。

質問 最近の津波避難訓練は緊張感を感じない。万一の時に役に立たないのでは。

町長 今回の反省会で、いろいろな局面を想定して実際に役に立つものを取り入れた訓練の検討をしています。



素晴らしい交流体験

民生委員の定数は

(町長) 現状を維持したい



芹澤 孝 議員

質問 民生委員の定員は多いほど負担も減り、中身の濃い活動もできるが、成り手がなく候補者探しに四苦八苦する現状だが、定員数についてはどのように考えているか。

町長 現状維持をする考えですが、現在、仁科浜北、田子道西、安良里浜川西、宇久須浜東の4地区に民生委員がおりません。区長さんと候補者探しに苦慮しています。

質問 民生委員の負担軽減のため、行政・社協からの民生委員に対する仕事の依頼事項を整理して、仕事量を減らすことと、窓口のワンストップ化を考えてはどうか。

環境福祉課長 仕事量のチェックはやっていきたいと思えます。毎年同じ調査を依頼している場合などがありますので、作業軽減の見直しを行いたいと思えます。ワンストップ化については、できるものとできないもの

がありますので、民生委員と話しあっていきたいと思えます。

後見制度の周知は

PRに努めます

質問 成年後見人制度の周知・普及のために、高齢者でも理解しやすい視覚に訴える内容のパンフレットを全家庭に配布できないか。

健康増進課長 全家庭となるかは分かりませんが、後見制度のパンフレットを作り、PR、普及啓発に努めたいと思えます。

質問 成年後見制度の利用申請がないことを、ニーズがないとせず、潜在するニーズを積極的に把握する対策を取っているか。

健康増進課長 町では、75歳以上の独居世帯、夫婦世帯を臨時職員が見回りしています。変化があれば、地域包括・保健師・関係者で対応方針を協議します。

質問 成年後見制度の要綱が27年に施行され、対象者には有意義な要綱だが、他町に比べ施行が遅れた理由は、

環境福祉課長 検討に時間がかかりました。



頼りにしています (民生・児童委員委嘱状交付式)



山田厚司 議員

奨学金制度の見直しは

(町長) 国の動向踏まえ検討中

質問 百川奨学金、稲葉金秋奨学金など、西伊豆町の奨学金制度の見直し状況は。

町長 教育委員会に見直しの指示をしてあります。国の奨学金制度改革の動向を踏まえ、検討しているところです。

質問 修学・進学状況が変化し、大学進学率も上がっている。これらを主眼とした見直しも必要では。

町長 貸付対象を大学生まで拡充することを柱に検討しています。

質問 現在、高校生にかかる教育費の中では、授業料の無償化に伴い交通費が一番高くなっている。その補助を検討しては。

町長 考えていません。近隣高校だけでなく全般にわたる支援を検討します。

質問 国でも給付型奨学金制度を導入する。西伊豆町も少子化対策などを考慮し、検討しては。

町長 今のところ考えていません。

観光振興対策は

商工会、観光協会と共に

質問 近年、重要な観光資源と認識される「食」をどう活用し振興していくのか。

町長 商工会・観光協会が中心に進めていただき、町が協力すべきことは、手助けしていきたいです。

質問 自然体験や歴史景観など、新たな観光資源を活用し、観光振興を図るうえで、マーケティング(市場調査)やブランディング(価値を認知させる)を念頭に置いて

た対応が重要では。

観光商工課長 まずマーケティングをしてから、ブランディングすることが重要と認識しています。商工会・観光協会と協議して進めることが必要と思っています。

質問 現在動画が携帯端末などで簡単に閲覧できる。町は何のためにPR動画を制作するのかをよく考え、視聴効果をより有効に活用するためには、誘客PRになり得るものを制作する必要があるのでは。

観光商工課長 必要があれば今後検討したいと思います。



再生回数200万回以上で、波及効果抜群！

議会の動き

議会活性化 議員は何をすべきか

11月24日、賀茂郡町議会議員研修会が開かれ、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏、静岡県賀茂健康福祉センター所長高橋安雄氏に下記の演題で講演していただきました。

「地方議会のあり方と課題について」

野村先生は約40年間にわたって地方議会を調査研究してこられた方です。戦前と戦後の議会の違い、時代に相応するための議会の在り方、議員の役割の基本についてなど、予定時間90分をかなりオーバーするほど熱の入った講演をしていただきました。

今回の講演は、“議会の活性化のために議員は何をすべきか”と言う事を、もう一度原点に立ち戻って考え直す良い機会になりました。

高橋所長講演では

「賀茂地域における地域包括ケアの取り組み」

☆賀茂地域の人口ピラミッドは

高齢者人口はピークを迎えている。今後、高齢者人口は減少に転じるものの、後期高齢者が増加すると同時に、人口減少が進む。

☆地域包括ケアシステムとは

地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される体制のこと。今、新たな介護制度により賀茂地域広域連携でシステム構築を“最終”目標として進めています。

個人として、地元の議員としてこの先10年、20年後、“一番心配なことは何か”を改めて問われた講演でした。



野村氏の講演

議会広報 まだまだ課題が

10月25日、東京で開催された町村議会広報研修会に広報編集委員5名と議長が参加しました。

1. 「分かりやすく、伝わる広報誌の表記」
2. 「読まれて、伝わる議会広報誌
ドラッカーに学ぶ【10のkey word】」
3. 「優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集」

毎年参加して改善を重ねてきていますが、まだまだ課題があります。研修で学んだことを生かし、皆さんに愛読し続けてもらえる「議会だより」を目指し、さらに努力して行きます。

議会広報編集委員長 高橋 敬治



2015年度の優秀賞受賞紙

町民と共に鳥獣被害対策

第1常任委員会・第2常任委員会は合同で、10月5日から7日の日程で、千葉県鋸南町・栃木県那珂川町と茨城県ひたちなか市を視察しました。

鋸南町では、Facebookを活用し、町で行なうイベントの告知や、季節ごとに咲いている花の紹介・桜の開花状況などを、町外の方々に広く宣伝するとともに、誘客に結び付けているとすることで、積極的な広報が町に人を呼び込んでいるようです。

鳥獣被害対策では、地区や町民と一体となって駆除隊を結成し、事に当たっているとすることで、獣肉を使ったバーベキューやハンティングツアーを実施し、獲る・捌く・食べるを体験してもらう事によって、理解を深めると共に、獣肉に対するイメージの変化にも一翼を担っているようでした。11月に行われた獣肉バーベキューには200人を超える参加希望者がいるとの報告も受けました。



常任委員会合同視察研修

ひたちなか市では、市営住宅の老朽化に伴い、安易な建て替えや補強での一時しのぎではなく、市内に存在する空家を活用した取り組みを視察しました。この事業は、無駄な建設費の抑制と、民間活力の向上を図る取り組みで、市・空家所有者・入居者のすべてが得をしているようなシステムに思えました。今後西伊豆町も空家が増えることが予想されますし、町営住宅を建てる計画もないため、こうした取り組みも必要ではないかと思えます。 第1常任委員長 星野 浄晋

官民一体で廃校を道の駅に

鋸南町では、廃校となった町立保田小学校を改修した「道の駅保田小学校」も視察しました。この道の駅は町が整備し、西伊豆町と同じ共立メンテナンスが指定管理を行い、千葉県の重点道の駅候補にも選定されています。

鋸南町は27年4月現在の人口が8,563人、少子高齢化と生産人口の減少という課題を抱えるなか、小学校統合問題に着手、同時に廃校を活用した地域活性化・コミュニティーの核にする事業を始動させました。体育館はお洒落な市場に改修し、特産の農林水産物販売拠点になっております。旧校舎棟には飲食・物販店が出店し、教室を使った宿泊施設もあります。

また、このプロジェクトは、住民のアイデアを基本に設計されたとのこと。問題解決のため現状を再確認し、様々なニーズ調査と対応。その発想は民間手法を多く取り入れ、大学とも連携するところは西伊豆町の参考となることが多いと感じました。



教室がカフェに

那珂川町では、塩分濃度が生理食塩水に近い温泉を利用して、海に面しない地域で養殖される「温泉トラフグ」の取り組みを視察しました。「温泉トラフグ」の特徴は無毒で出荷期間が短くて済むことでもあります。町の使用していないプールを民間企業が活用し、技術と雇用そして特産品を生み出す手法は、興味深いものであり研究次第では西伊豆町でも可能性を感じるものでした。 第2常任委員長 山田 厚司

小さいころからABC

第1常任委員会は、11月14日に教育委員会の所管事務調査を実施しました。

26年度まで行っていた外国語指導助手（ALT）の委託を、27年度からは国の事業（JETプログラム）を活用し、現在5名の外国人指導者を採用しています。

人口8,500人の町が5人もの人材を獲得できたのは、県から教育長を招いたことと、教育委員会の努力にほかなりません。この制度によって、3小学校区に一人ずつのALTを配置した他に、スポーツ交流員として、元プロバスケットボール選手による部活の指導も行われています。今年度からは、国際交流員として、英語・日本語・中国語・スペイン語の4か国語を使いこなす方も来町しており、台湾澎湖県との交流でも活躍してくれました。

幼・保育園で、英語に親しむことによって、外国語という遠い存在から、身近な外国語に代わると思います。また、日本語を自然に覚えたように、小中学校では、英語にも親しみをもって勉強してくれればと思います。こうした取り組みが西伊豆町の児童生徒の語学力向上と、勉強したつもりではなく、自然に身についた英語力で、国際化の波に乗り遅れない子供たちに育ててほしいと思います。

その他、子供数の推移による学校統合問題、ICT活用の学習方法、Z会・LEGO社との連携について説明を受け、質疑しました。

第1常任委員長 星野 浄晋



楽しく英語

ふるさと納税、昨年並みか？



観光商工課所管事務調査

第2常任委員会は、11月16日に観光商工課の所管事務調査を実施しました。

ふるさと納税については、27年度と28年9月現在までの申請額、件数の受付状況と寄付金の使い道について説明を受け、質疑しました。

ふるさと納税は27年度、10億947万円もの寄付を頂きましたが、近隣市町も取組みを強化しており、また、返礼品も海産物などで重複することもあり、減る心配もありましたが、前年対比5,729万円増と好調に推移、順調にいけば昨年並みの実績は確保できるとのことです。

使い道については、教育費・道路整備費などに使われていますが、今後さらに検討する必要があると感じました。

西伊豆町の東京事務所・アンテナショップについては、首都圏での販路拡大手段として利用するオフィス及び秋葉原アンテナショップ「ちゃばら」の運営方針・活用状況についての報告を受けました。

また、全額が国負担となる地方創生加速化交付金に認定された事業内容について説明を受け、質疑しました。首都圏で販路を拡大することは、観光客誘客・移住定住・ふるさと納税にも効果的で今後も重点課題として取組み、また、地方創生加速化交付金の地元事業者適応分は、地場製品の販売拡大が、誘客・地域活性化にも繋がり、有効活用が望まれます。

第2常任委員長 山田 厚司

わが町のジオサイト

<2,000万年前の贈り物> 餅山（堀坂）

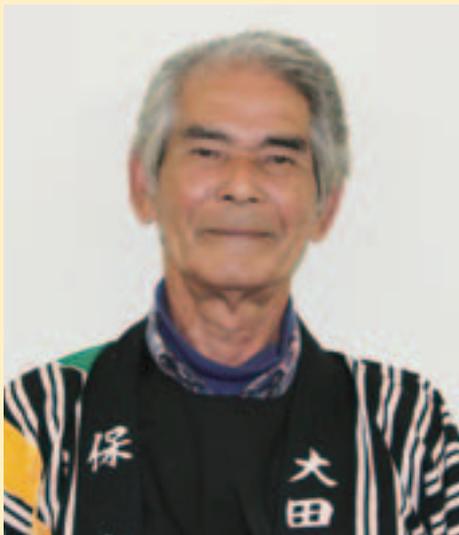
一色の枕状溶岩から仁科川下流堀坂地区に、餅山（地域の通称）があります。

伊豆半島で最も古い仁科層群で、伊豆がはるか南の海底火山だったころの、およそ2,000万年前の地層で、小山の岩肌全体に枕状溶岩を見ることができます。



枕状溶岩は海底に流れ出した溶岩がソーセージやチューブ状に出た歯磨き粉のように積み重なりますが、ここではつきたての「餅」がペタペタと重なっているように見えます。完全に冷えて固まる前の溶岩が次々と重なり合い、重力で変形したり垂れさがったりした様子を見ることができます。

町内探訪 21 大田子ばやし保存会



会長 鈴木嘉勝さん
(田子在住)

大田子ばやし保存会は約百年前から伝わる大田子ばやしの伝承のため平成元年に発足し、鈴木さんは3代目会長として尽力しています。

質問 現在の会員は。

鈴木さん 幼稚園児から72歳まで20人です。女性も2人入っています。

質問 会の鳴り物と演目は。

鈴木さん 大太鼓4、小太鼓6と笛3、摺り鉦1です。演目は、引き出し、岡崎、鎌倉、荷崩し、おっかけの5つです。

質問 会の活動は。

鈴木さん 毎月1回2時間程、大田子防災センターで練習しています。大田子祭りなどのイベントがある時は、

15日前から毎日練習します。その時は、ご近所の迷惑にならないように大田子川の川沿いで、車のライトを点けてやっています。

質問 活動する楽しみは。

鈴木さん 大田子祭りなど、イベント後の達成感と打ち上げで連帯感を感じ盛り上がることです。しかし好きでなければ続きません。

質問 現在の悩みは。

鈴木さん 今年は、新人が5人入りましたが、中学生から50代までの男性会員がいないことです。

質問 新たな取り組みは。

鈴木さん 介護施設などへの慰問ができないか考えています。

[取材 加藤・芹澤]

平成29年1月13日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962